

## 行政評価（外部評価）の実施手順

## 1 行政評価の目的

行政評価は、効果的・効率的な行政運営を進めていくために、これまでの事業成果を評価し、評価結果を基に事業内容の改善を検討し、次年度以降の計画・予算に反映させ、市民サービスの向上を目指すものです。

行政評価の目的としては、主に以下の3点が挙げられます。

事業の効率化	実施した事業の成果を明らかにし、目標達成度・費用対効果を客観的に評価することで事業の改善点・改善方法を洗い出し、より効率的な事業の実現を目指す。
市民に対する説明責任とサービスの向上	事業の実施内容や成果・達成度などを分かりやすく公表することにより、市民に対する説明責任を果たすとともに、市民からの意見を改善策に反映させることで、サービスを向上させる。
職員の意識改革	職員の事業に対する目的意識、コスト意識を明確にし、事務事業の改善に向けた積極的な取組を促進する。

## 2 外部評価の概要

## (1) 実施目的

今年度は、昨年度から継続して実施している事業峻別の取組のうち、事務事業予算の峻別対象の中から抽出した事業をもって、行政評価（内部評価）の対象とします。

現在、市長が進めている事務事業評価に対し、第三者による検証の機会を確保し、評価の客観性の向上及び透明性の確保を図ります。あわせて、事業の効率化、市民サービスの向上、職員の意識改革を図ることを目的として、行政改革推進委員会による外部評価を実施します。

## (2) 基本方針

ア 行政改革推進委員の皆様からは、市長が評価を進めている事務事業評価について、外部の視点から評価・検証し、事務事業の改善、今後の方向性等に関する意見等をいただきます。

イ 対象事業は、基本的に各委員の希望をできるだけ反映し、集約・調整の上、4～8事業程度を選定します。

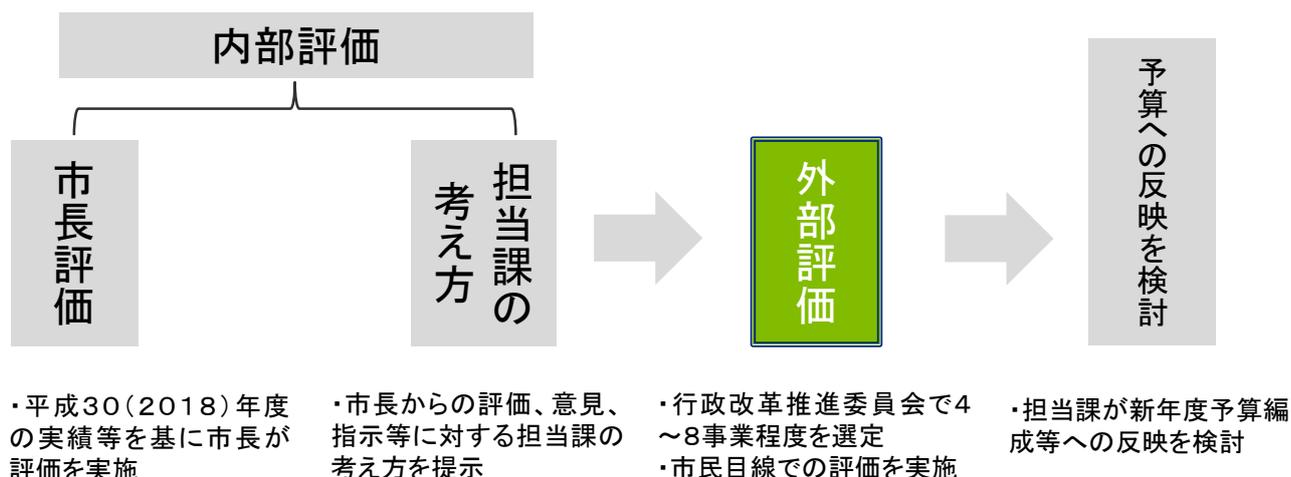
ウ 選定事業に対する外部評価会議は、審議の充実及び委員の負担を考慮して、9月下旬（現時点で9月25日及び30日の午後を予定）の2日に分散して実施します。審議は、各日の評価を行う委員に委ねるものとし、当該委員の出席をもって開催要件を満たすものとし、

エ 外部評価は、事業が実際に行われている現場を見るのではなく、個別事業の評価シートに基づき、担当課から説明を受け、それに対する質問等により行います。

オ 評価結果については、様々な立場にある委員の多様な意見を反映するため、委員会の総意として集約せず、そのまま個別の意見として、担当課及び市長へ伝達することとします。

カ 外部評価の結果及び市長による事業峻別結果を踏まえて、担当課は、当該事業に対する今後の方針を検討し、予算編成や各種計画等への反映を検討します。

## 行政評価における外部評価の位置付け



### 3 外部評価の対象事務事業の決定（8月19日）

#### (1) 進め方

- ア 評価方法の概要について事務局から説明を行い、併せて質疑応答を行います。
- イ 選定基準に基づき提示した事業について、事務局から説明の上、質疑応答を行います。
- ウ 評価を希望する事務事業及び希望理由並びに希望日程を外部評価対象事務事業等希望調書に記載していただきます（欠席委員につきましては、事前に提出いただいております）。
- エ 事務局にて結果を集計します。なお、集計中は、休憩とします。
- オ 事務局から集計結果を発表し、委員間で意見交換の上、4～8事業程度を選定していただきます。

#### (2) 対象事務事業の選定の視点

評価対象については、市長がヒアリングを行い、評価を行った中から、次の視点に基づき、行政改革推進委員会から意見をいただきたいとした事業を提示しています。

- ①市民生活に関係の深い事業
- ②行政内部でも意見が分かれるなど、判断に悩む事業
- ③予算規模の大きい事業（特に一般財源の大きい事業）
- ④自治事務の事業（法定受託事務や法定事業以外）の市の裁量が大きい事業
- ⑤過去に外部評価の対象となっていない事業
- ⑥その他市民の意見を参考とすべき事業

委員の皆様には次の4点を参考に外部評価の対象事務事業を決定いただきたいと思います。

- ①事業の妥当性・・・市民のニーズを満たしているか
- ②事業の有効性・・・目的どおりの成果が出ているか
- ③事業の主体（事業の担い手）・・・市ではなく他の実施主体がやるべき事業か
- ④事業の効率性・・・コストに対する成果は問題ないか

#### 4 外部評価会議の実施（9月25日及び30日実施予定）

##### (1) 進め方

○評価の流れ（1事業当たり約45分）

項目	進行時間 (目安)	説明								
開会	13:30	時間までに会場へ集合をお願いします。								
①スケジュールの説明（5分）	13:30～ 13:35	事務局から会議スケジュールの説明を行います。								
②担当課による事業説明（10分）	13:35～ 13:45	担当課が評価シートや追加資料に基づき、事業の概要、課題、実施状況、自らが行った自己評価の結果、市長による評価に対する今後の対応について説明します。								
③質疑応答・議論（20分）	13:45～ 14:05	委員が担当課に補足説明を求め、評価する上で必要と思われる事柄を質問します。必要により、市長評価の詳細について、事務局に質問します。また、これらを踏まえ、委員同士で議論します。								
④外部評価シートの作成（15分） ※休憩を含む	14:05～ 14:20	各委員が、外部評価シート（次頁参照）へ事業に対する評価及び意見を記入します。評価は、以下の4つから選択します。								
		<table border="1"> <tr> <td>継続</td> <td>事業の内容に問題はなく、維持していくもの</td> </tr> <tr> <td>一部見直し</td> <td>事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：事業を統合（一方は廃止）できるもの。市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの</td> </tr> <tr> <td>休止</td> <td>事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td>事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの</td> </tr> </table>	継続	事業の内容に問題はなく、維持していくもの	一部見直し	事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：事業を統合（一方は廃止）できるもの。市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの	休止	事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの	廃止	事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの
		継続	事業の内容に問題はなく、維持していくもの							
		一部見直し	事業内容（事業費・対象・範囲・手段等）を拡充又は縮小していくもの 例：事業を統合（一方は廃止）できるもの。市民ニーズの高まりにより拡充するもの。事業効果が薄く、効果に見合った事業規模に縮小するもの。民間委託や補助金化により業務を軽減できるもの							
		休止	事業の休止を検討するもの 例：市が関与せずとも市民又は民間主体で事業目的を達成できる見込みがあるもの。事業目的を一定程度達成しており、毎年度実施する必要性がないもの。事業効果が薄く、休止した場合の影響を検証してよいもの							
廃止	事業の廃止を検討するもの 例：事業終期が到来したもの。他事業と統合（一方は見直し）できるもの。事業目的の達成又は事業目的の達成が困難なもの。事業効果が見込めないもの									
②～④を繰り返す（この間、事務局で提出された外部評価シートの取りまとめを行います。）。										
⑤会議総括（30分）	16:00～	全ての評価が終了した後、取りまとめ結果を事務局から発表します。また、結果に対し、委員間で意見交換を行います。								

##### (2) 質疑応答・議論のポイント

事業評価シートの記載内容から読み取れない事項及び疑問に思った事項並びに外部評価シートの評価ポイントに記載した事項について、質疑・議論していただくと良いと思います。

#### 【参考】説得力のある評価とは

説得力のある評価は、客観的な事実（評価の根拠）に基づき、明確な評価が行われ、評価の結果、今後解決すべき課題が明らかにされている評価です。



# 外部評価対象事務事業一覧

資料2

番号	事業名	所属名	当初予算額(円)	主な事業目的・意図	主な支出の対象	備考
1	路線バス等確保事業	企画政策課	150,981,000	市民の生活交通の確保を図る。	市民及びバス運行事業者	
2	シティセールス推進事業	元気発信課	18,215,000	定住人口の増加に向けた若者のUターンの促進、Iターンの促進、地元定住の実現を図るため、ファンクラブの活動を通じて定住意欲を高める。	ファンクラブ会員、市民、市外の柏崎にゆかりのある者	
3	U・Iターン促進事業	元気発信課	19,775,000	定住人口の増加に向けた若者のUターンの促進、Iターンの促進、地元定住の実現を図る。	田舎暮らし、地方生活を志向する首都圏在住者。U・Iターンを検討する市外在住者	
4	生活保護費	福祉課	855,028,000	生活保護受給者の最低生活を維持する。	生活保護受給者	
5	介護保険特別会計繰出金	介護高齢課	1,423,710,000	介護保険特別会計の介護保険給付市費負担分、市独自事業、介護保険事業運営に係る経費の繰出を行う。	-	
6	健康展事業	健康推進課	729,000	体験、相談、展示等を通じて心や体の健康づくり、元気づくりの啓発等を行う。	市民(来場者)	
7	ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課	2,400,000	子育て中の親が仕事と家事や育児等の家庭生活を両立できるよう支援する。	センターの依頼会員、提供会員、会員希望者	
8	県立こども自然王国管理運営費	子育て支援課	77,199,000	県内外の児童・親子が豊かな自然の中で交流を深め、児童の健全育成の向上を図る。	市民及び県内外の児童・親子	
9	県立こども自然王国整備費	子育て支援課	76,337,000	同上	同上	
10	地域子育て支援拠点事業	保育課	20,779,000	未就園児とその保護者が身近な地域で安心して自由に過ごせる場を提供し、親子の交流及び子育て不安の解消を図る。	未就園の乳幼児と保護者及び妊娠中の方	
11	地域子育て支援交流施設整備事業	保育課	1,250,000	同上	同上	
12	広域観光推進事業	商業観光課	12,090,000	地方創生交付金を活用し、中越文化・観光産業支援機構における広域市町村の観光コンテンツを例刑させ、PRツールを活用して誘客を図る。	観光客、観光関連業者	
13	柏崎港観光交流センター管理運営費	商業観光課	4,248,000	風光明媚な番神岬周辺を訪れる観光客に対し、市内観光案内をすることで市内に誘導する。経済効果の拡充とともに観光客の満足度向上を図る。	柏崎港観光交流センタータ海の管理運営に係る経費	
14	柏崎・夢の森公園施設管理費	維持管理課	73,877,000	自然との共生の気付きの場を提供し、公園の安全な利用のため施設の管理代行委託を行う。	市民	
15	柏崎・夢の森公園施設整備事業	維持管理課	1,000,000	パトロールや指定管理者からの情報等により公園施設の状況を把握し、施設の改築更新や修繕を行う。	市民	
16	教育情報支援事業	学校教育課	6,437,000	情報教育支援システムの運用管理を行うとともに、情報機器に関する指導や支援を行い、教育の情報化を推進する。	小中学校の教職員	
17	青少年健全育成事業	文化・生涯学習課	5,368,000	青少年の非行・被害の防止を社会全体で取り組み、青少年の健全育成を推進する。	子ども、若者と彼らを取り巻く家庭や地域社会	
18	博物館振興事業	博物館	2,322,000	教育、学術及び文化の発展に寄与するため、自然や人物、歴史、文化をテーマとした特別展、企画展を開催する。	住民	
19	旧ふるさと人物館管理運営費	博物館	1,832,000	平成29年度の閉館に伴い、収蔵資料の保管を行っている。	住民	
20	飯塚邸管理運営費	博物館	8,050,000	市民や観光客が気軽に楽しめる文化施設として、指定管理者による自主事業や柔軟で効率的な管理運営を行う。	住民	

8月19日の第2回行政改革推進委員会に欠席される委員におかれましては、お手数ですが、以下の外部評価対象事務事業等希望調書を御記入いただき、8月16日（金）午後5時までにFAX、持参等により担当までお送りください。

担当：〒945-8511 柏崎市中央町5番50号 柏崎市総合企画部人事課育成改善班 宮川、村山  
TEL：43-9143（直通） FAX：32-3303 E-Mail：jinji@city.kashiwazaki.lg.jp

### 外部評価対象事務事業等希望調書

記入日 令和元（2019）年 月 日

行政改革推進委員会委員名 \_\_\_\_\_

■令和元（2019）年度 外部評価希望事務事業・・・資料2から選択

外部評価の対象として、次の事務事業を評価することを希望します。

なお、9月25日及び30日に実施する外部評価会議にあっては、各評価日に出席する委員に委員会の審議を委ねることに同意します。

区分	番号	事務事業名	希望理由
第1希望 (5点)			
第2希望 (4点)			
第3希望 (3点)			
第4希望 (2点)			
第5希望 (1点)			

■令和元（2019）年度 外部評価会議 参加希望日程

↓希望する方に○（両日とも○も可）	外部評価会議 実施日時
	9月25日(水)13:30～16:30(終了予定)
	9月30日(月)13:30～16:30(終了予定)

※ 上記の希望を踏まえ、8月19日の委員会にて外部評価の対象を4～8事業程度選定し、希望日程に割り振ります。全委員の希望を点数化した上で上位の事業から選定し、希望の多い日程に割り振るため、希望する事務事業が選定されないこと、及び希望する事務事業の評価担当とならないこともありますので、御了承ください。